



# 木頭ゆずをめぐる 「柚冬庵」の取り組み



地域特産マイスター  
榊野 瑞恵

# 柚冬庵のふるさと



なかちょう  
**那賀町**

平成17年に鷺敷町・相生町・上那賀町・  
木沢村・木頭村が合併。  
人口9,846人で、うち65才以上人口が4,060人。  
高齢化率41.24%。

**木頭地区** 人口1,329人、高齢化率48.7%

# きとう 木頭ゆず

那賀町の最も基幹的な品目で、高品質果生産を誇る  
栽培面積160ha・栽培者800戸  
売上 約3億円（青果・加工原料）

**半世紀の歴史**



徳島県産ゆずは全国第2位の産地  
木頭ゆずは全国有数のブランド



# 有限会社 柚冬庵

<http://yutouan.com/>

H28年

農山漁村・女性  
シニア活動表彰  
農林水産大臣賞



木頭ゆずジュース・ジャムセット



表彰式後 従業員一同で記念写真 日本女子大前



ポン酢のマコちゃん



木頭ゆずと  
はちみつのジャム



木頭ゆずの  
手作り柚子みそ



木頭ゆずゼリー6個セット

# 🍃 柚冬庵のゆず商品

## 「かきませ」とは・・・



お客ごとや、人寄りする時、木頭では必ずといっていいほど、頻繁に作られる最も懐かしく最も一般的な行事食です。

家の庭に実る木頭柚子を搾り、塩を加えた合わせ酢で、酢飯を作り、季節の野菜を煮込んだ具を混ぜた「かきませ」は昔々から木頭の人が食べ続け、これからもずっと伝え続けていきたい木頭の代表的な郷土料理の一つです。

H22年  
食アメニティ  
コンテスト  
農村振興局長賞





# 農家の6次産業化を応援



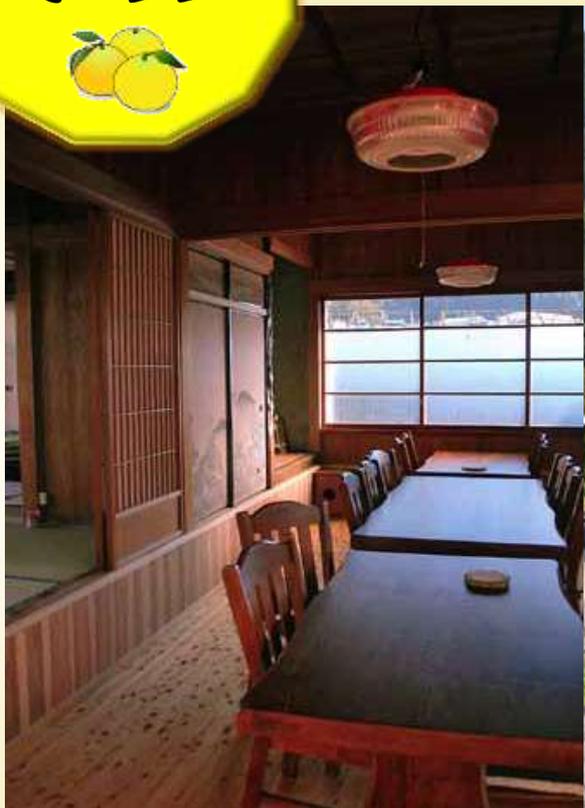
OEM（製造受託）の6次化商品

数十個単位の小ロット生産から受注

H25年  
10月  
オープン



# 「柚冬庵カフェ くるく」



空家再生＝交流拠点整備

「くるく」とは、  
木頭の方言で、「来る家(所)」という意味





# 「柚冬庵カフェ くるく」

## ①郷土料理の提供



イオンリテール株式会社 梅本会長 ゆず産地見学



# 「柚冬庵カフェ くるく」

## ②地域高齢者「憩いの場」の提供 ～食事サービスや災害時避難所として～



「くるく」で団らんする地域のお年寄りと榊野さん君  
—那賀町木頭南宇

榊野の榊野理恵代表

### 木頭に住民交流施設

#### カフェや災害時の避難所に活用

木頭ゆずを加工販売する那賀町の有限会社  
柚冬庵が、地域を訪れた人や地元民の交流  
拠点施設「くるく」を那賀町木頭にオープン

高齢者の交流や各種イベント、災  
害時の一時避難所を、住民主体で多目的に利  
用し、過疎が進む地域の活性化を目指す。

### 地元企業が古民家改修

空室になった木造  
平蔵の古民家を借り、県の  
補助金も使って改修した。  
4室あった和室を2方を飯  
間にして、最大10人の椅子  
とテーブルを並べ、高齢  
者でも利用しやすい。  
利率のふすまを開けばエ  
ア細が風通せる。  
名称は「まごに」「家」  
を意味する方言の「く」を  
組み合わせた。飲食を並べ  
る場所づくりも狙いの一つ  
で、広いキッチンを用意し  
て、広いキッチンを用意し  
て、飲食店の許可を県建  
所に申請中だ。台風などの  
際には一時避難所として開  
放し、高齢者の不安を和  
らげる。

（3）ほこれまで、東京で催  
される町のイベントな  
どにたびたび参加してき  
た。土産を使ったちらし  
ずし「なまませ」などの郷  
土料理を出身者に振る舞  
ってきたが、「郷土料理は  
やはり地元で食ってもら  
いたい。そのためには場所が  
必要」と感じていたとい  
う。

地域には公民館以外に人  
が集まる交流ができる場  
所がない。若者や高齢者が  
食事しながらゆつくりと  
時間を過ごすような、敷  
居の低い施設をつくらんと  
考えた。

オープンした1月には地  
元のお年寄り4人を無料招  
待し、食事や会話をのんび  
りと楽しんでもらったこ  
ろ。「またぜひ来たい」と  
好評だった。

今後はイベントを開いた  
り、カフェを定期的に営業  
しつづけて、利用を拡大さ  
せたいと予定。榊野さんは  
「この場所で人々の交流が  
盛んになり、地域が長く存  
続していけば」と期待を込  
めまわっている。

(新居出止)





# 「木頭ゆずクラスター協議会」設立

(H26. 5. 14)



## ＜活動目的＞

木頭ゆずの**6次産業化**や**輸出**など新たな取り組みを促進するとともに、**鳥獣害対策**や**担い手育成**などの地域課題の解決に向けて取り組み、**産地活性化**を図る。

＜組 織＞会長 榊野 瑞恵

6次化企業・菓子メーカー・生産者団体・

行政など 9団体



# 木頭ゆずクラスター主要メンバー



有限会社 柚冬庵



株式会社 黄金の村



JAアグリあなん海川工場



市岡製菓株式会社

阿波徳島にもうまいもんあり since1949

県内菓子メーカー

きとうむら



株式会社 きとうむら

農林水産省表彰事業

第三回ディスカバー農山漁村の宝  
特別賞 チャレンジ賞受賞



(平成28年12月1日 首相官邸)  
全国優良事例30ヶ所から、6次産業化や輸出の  
取り組みが評価された。



# 木頭ゆず6次化の全国展開



スーパーマーケットトレイドショー、FOODEX  
ギフトショーなど全国商談会へ共同出展



徳島県初!

# EU向け「木頭ゆず輸出」



ハードルの高い検疫条件等をクリア、  
EUへ「木頭ゆず」を輸出

# 海外でのプロモーション



パリ「木頭ゆず賞味会&写真展」  
【郷土料理（かきませ）紹介】  
（H29年1月19日）

「シラ国際外食産業見本市」  
【ゆず搾り果汁試飲】  
（H29年1月21～22日）

- ゆずの青果サンプルを展示
- 食文化の紹介や食べ方の提案

# 木頭ゆず



農林水産大臣登録第42号





# 木頭ゆずスイーツ開発



5/18・19木頭ゆずスイーツ現地研修会

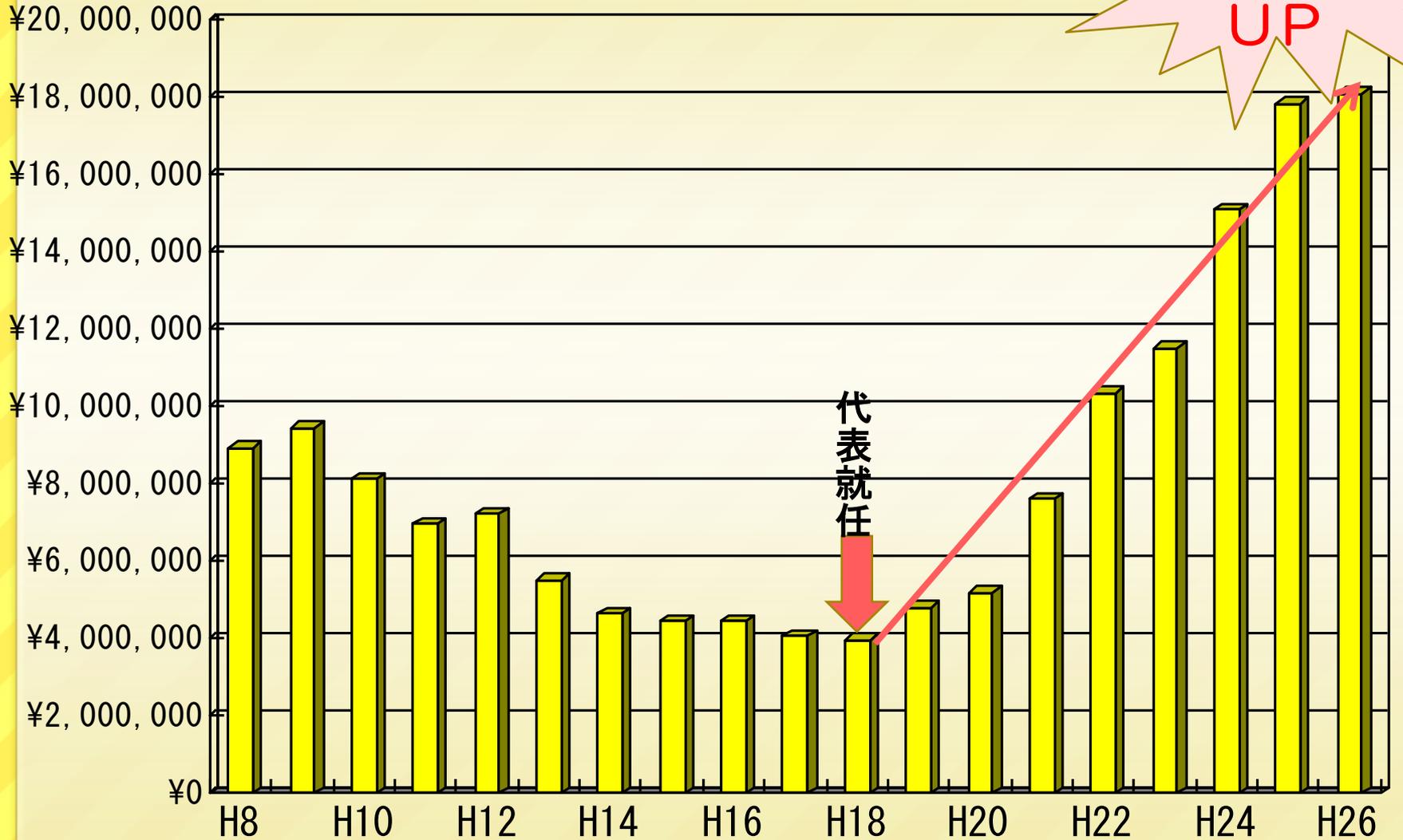


10/8 メディア向け木頭ゆずスイーツ発表会  
(女性誌ライター、有名パティシエ等30名出席)



# ■ 柚冬庵売上

4倍  
UP



## ＜今後の活動＞ 柚冬庵として

- OEM（製造受託）に力を入れ、  
売上増を目指す。
- カフェ部門の拡充及び、  
宿泊施設の開設に向けて取り組む。
- 次世代の若手女性農業者に継承

# <今後の活動> 6次産業化企業として

- 6次産業化&輸出により、  
産地の新たな展開を図る。

加工用単価の改善

H25年産 77円/kg ⇒ H26年産 ~131円/kg ・  
29年産 青果原料 151円/kg

- 「木頭ゆず」ブランド力の向上
- 地域課題である鳥獣害の軽減や  
にぎわいの創出
- 定年帰農やU、Iターンなどの  
多様な担い手育成



鮮やかな純黄色・豊かな香り  
徳島県那賀町  
きとう  
木頭ゆず

# ゆず産地の活性化

おわり